

# 受賞者一覧

	賞名	受賞団体名
環境大臣賞	グランプリ	下川町(北海道)
	金賞(地域活動部門)	(特非)ごみじゃぱん(兵庫県)
	金賞(学生活動部門)	米子工業高等専門学校B&C研究同好会(鳥取県)
	金賞(地域エネルギー部門)	(一社)でんき宇奈月プロジェクト(富山県)
	金賞(企業活動部門)	(株)滝の湯ホテル(山形県)
共催・協賛・協力企業 団体賞	LIXIL最優秀家庭エコ活動賞	(株)北州(宮城県)
	セブンイレブン記念財団最優秀地域活動活性化賞	沖縄県八重山農林高等学校環境工学部(沖縄県)
	オルタナ最優秀ストーリー賞	(株)ファンケル(神奈川県)
	気象キャスターネットワーク最優秀地域・学校エコ活動賞	京都府長岡京市立長岡第四小学校(京都府)
	タカラトミー最優秀次世代賞	(公財)神奈川県労働福祉協会川崎市大師保育園(神奈川県)
	損保ジャパン日本興亜環境財団最優秀わくわく未来賞	常盤大学(茨城県)
	キリン最優秀学生チャレンジ賞	静岡県立富岳館高等学校農業クラブ(静岡県)
	ウジエスーパー最優秀エコ・ガニック賞	(特非)丹後の自然を守る会(京都府)
オーディエンス賞①	静岡県立富岳館高等学校農業クラブ(静岡県)	
オーディエンス賞②	上根来里山再生プロジェクト(福井県)	
企画・審査委員特別賞①	「石川の朝とれもん」プロジェクト事務局(石川県)	
企画・審査委員特別賞②	ヤマトホールディングス(株)(東京都)	



北海道上川郡に位置する下川町では、  
地域資源を活用したエネルギー自給を推進しています。

**ココに注目!**

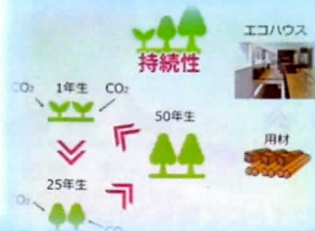


「下川町が元気でないと日本が元気にならない!」と環境未来都市推進本部の春日部長がプレゼンで宣言されたように、地域エネルギーのトップランナーとして世界へ向け発信しているとても元気な地域です。

## <低炭素社会づくりへの4つの貢献>

### ①持続性

町面積の9割が森林である同町では、50年前から植林を毎年続け、木材をエコハウスとして使用し、無限の資源を生産しています。



### ②自立性

化石エネルギー使用で年12億円が外部に流出しています。林地残材でバイオマス発電し、エネルギーの自給を計っています。雇用も増加で、都市から若者たちが移り住む人口減少に歯止めが掛かります。

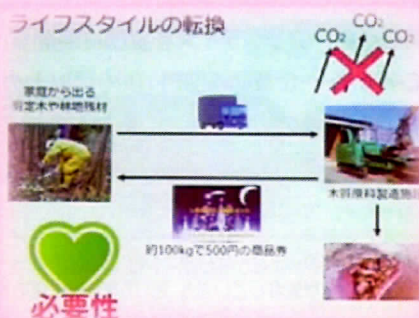


下川町が元気でないと  
世界が  
元気にならない?!



### ③必要性

町民の5人に1人がエコ得ポイント(ライフスタイルの転換)に取り組んでいる。家庭から出る枝を原料化し、商品券が買えるという仕組みです。この活動によって、お金が地域で回ります。



### ④波及性

バイオマスボイラー導入→CO<sub>2</sub>排出削減量1219トン、経費削減1700万円→その浮いた資金をもとに保育料軽減、医療費の無料化など子育て支援。

これから下川町の取り組みが北海道内の市町村に波及し、全国へそして海外へ広がっています。

